

希望都市まいばらの実現に向けて



▲多くの職員に出迎えられた初登庁(3月6日 近江庁舎にて)

このたびの市長選挙において、多くの市民のみなさんのご支援をいただき、引き続き市政を担わせていただくことになりました。市長という責任の重さを痛感しながら、使命感で身の引き締まる思いです。

市民のみなさんのご期待に添えるよう、全力で市政運営に取り組んでいきます。

米原市長 平尾道雄

米原の未来を切り拓く

私はこれまで、地域に元氣やにぎわいがあふれ、あらゆる世代の人々が、将来に夢と希望を持つことができ、まち「希望都市まいばら」の実現を目指すし、子育て支援や少子化対策、また高齢者や障がい者をはじめとする市民のみなさんが、安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んできました。

プロフィール

ひら お みち お
平尾 道雄 昭和25年12月生まれ
高番で誕生、堂谷在住

=経歴=

- 1973年 4月 米原町役場に就職し、企画調整課長・総務課長などを歴任
- 2003年10月 山東町・伊吹町・米原町合併協議会事務局長に就任
- 2005年 2月 米原市で政策推進部長に就任
- 2005年 3月 米原市初代市長に就任
- 2013年 3月 米原市第3代市長に就任
- 2017年 3月 米原市第4代市長に就任

趣味は薪割り

妻と息子夫婦、孫2人との6人住まい。孫との触れ合いは、楽しみの1つです。犬2匹、猫1匹は全員が野良から家族に。癒される大切な存在です。



しかし、本格的な超高齢化・人口減少社会が到来する中、持続する米原市を創り上げていくためには、さまざまな課題に立ち向かわなければなりません。

私は、市民のみなさんの力をさらに集結し、これまでの取組を充実、発展させることで米原市の未来を切り拓くことができると確信しています。米原市の将来に希望を持ち、子や孫に自信を持って引き継いでいくことができるまちづくりを進めることが、私の使命だと思っています。

住みよさが実感できる まちづくり

平成28年6月の市議会第2回定例会で、統合庁舎の位置を「米原駅東口市有地」とする重要な決定をいただきました。この庁舎位置の決定に呼応する形で、民間活力による米原駅東口まちづくり構想が、隣接する区画で進められようとしています。

米原駅が持つ近畿、中部、北陸さらには首都圏との時間距離を地域特性として活かし、統合庁舎が単なる市役所庁舎というだけではなく、JR新幹線駅に隣接する立地条件を最大限に活かし、住む人・訪れる人の交流により、にぎわいが増幅される新たな都市拠点が形成されるよう進めてまいります。

第2次米原市総合計画で、これからのまちづくりの目標と方向性を「ともにつながり ともに創る 住みよさ実感 米原市」としました。米原市ならではの暮らしの豊かさをさらに高めながら、住みよさが実感できるまちづくりに取り組みたいです。

みなさんの声を活かす 市政運営を

私は、人や地域を大切にす理念のもと、市民のみなさんの声を活かす市政運営を第一に考えています。市民の声を私に、そして市役所に届けてください。一緒になって解決していきたいと思っています。

これからの4年間、市民のみなさんとともに歩み、その先頭にあたって頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



平成29年度当初予算は「準通年型」 政策的な事業は6月以降の 補正予算で対応します

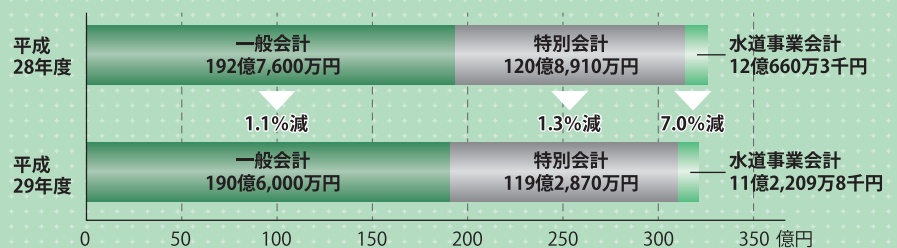
平成29年度当初予算の全体像

一般会計は、「準通年型予算」として政策的経費・臨時的経費の一部を盛り込んでいないことなどにより、前年度と比べて2億1,600万円(▲1.1%)の減額となりました。

一般会計と特別会計等を合わせた米原市の総予算額としては、4億6,090万5千円(▲1.4%)の減額となりました。

3月の市議会定例会に提出した平成29年度の当初予算は、2月に市長選挙が行われたため、市長の政策的判断が必要な事業を除いた経費で編成しています(準通年型予算)。政策的な事業等は、今後、6月以降の補正予算で、市長が掲げる政策提案を盛り込んで対応していきます。

問 市 財政課(米原庁舎) ☎52-1553 FAX 52-4447



市民の みなさんとの

4 つの約束

まちの未来づくりのため、4つの柱からなる政策を、市民のみなさんにお約束しました。その中でも、

- ・統合庁舎の整備推進
- ・米原駅東口まちづくり構想
- ・給付型奨学金制度の創設
- ・地域公共交通ネットワーク、乗合タクシー制度の再構築

は、早期の着手または事業化に目途を付けたいと考えています。

子ども、女性、若者、高齢者、障がい者にやさしいまちに！

給付型の 奨学金制度

学びの希望の実現、福祉現場の人材確保、若者のUターンを促進

延長・病児保育、 休日の放課後 児童クラブ開設

仕事と子育てを両立しながら、安心して働くことができる環境の整備

暮らしに安心 地域が元気なまちに！

乗合タクシーを 活用し、交通の 利便性向上

市外の医療機関や買い物などにも直接乗入可能な乗合タクシーの実現

新たな 住宅リフォーム 助成制度

子育て、介護、移住定住を促進

未来へ、たしかな歩みをはじめるまちに！

平成32年度までに 統合庁舎を 完成

統合庁舎の平成32年度完成を目指すとともに、山東庁舎に山東・伊吹地域を統括する機能を整備

名神伊吹 パーキングへの スマート インターチェンジ 整備

円滑に移動できる道路交通網の整備

市民の声で、 市民とともに築くまちに！

まちづくり 委員会 の組織化

地域担当職員制度を発展させ、地域の住民主体による課題解決を支援

(仮称)市民委員会で 多様な意見を 市政に反映

第1弾として「手話言語条例」を市民のみなさんとともに創設